

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第4区分

【発行日】平成23年2月17日(2011.2.17)

【公開番号】特開2008-278737(P2008-278737A)

【公開日】平成20年11月13日(2008.11.13)

【年通号数】公開・登録公報2008-045

【出願番号】特願2008-37350(P2008-37350)

【国際特許分類】

H 02 J 7/00 (2006.01)

H 01 M 10/44 (2006.01)

H 02 M 3/00 (2006.01)

【F I】

H 02 J 7/00 302 C

H 01 M 10/44 P

H 02 M 3/00 Y

H 02 M 3/00 H

【手続補正書】

【提出日】平成22年12月28日(2010.12.28)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

所定仕様の電池を定格数である複数個保持して該定格数の電池の直列接続によって定格起電力を得るように構成された電池ホルダから所定の負荷に給電するように構成された電池駆動式機器に適用される給電制御装置であって、

前記電池ホルダに当該複数個のうちの一の電池に替えて自己が保持されるに適合する形状・寸法を成し得る外装体と、

前記外装体内に配され、前記外装体が当該一の電池に替えて前記電池ホルダに保持されたときには当該他の電池の起電力の合算値に相応する電圧の供給を受けて該供給された電圧を前記定格起電力に相応する出力電圧に変換するコンバータ部と、

前記コンバータ部の出力を所定の負荷に供給する給電経路に介挿され給電制御信号に応じて前記給電経路を開閉するスイッチ部と、

前記スイッチ部に供給する前記給電制御信号を生成する給電制御部と、

を備えていることを特徴とする給電制御装置。

【請求項2】

前記給電制御部は、モーションセンサの検出出力に基づいて、所定の動きのパターンに応じて定められた態様で前記給電経路を開閉するような前記給電制御信号を生成するように構成されていることを特徴とする請求項1に記載の給電制御装置。

【請求項3】

前記給電制御部は、前記外装体が当該一の電池に替えて前記電池ホルダに保持されたときに当該他の電池から供給された電圧を検出する電圧検出回路を有し、該電圧検出回路が検出した電圧に基づいて前記給電制御信号を生成するように構成されていることを特徴とする請求項1または2に記載の給電制御装置。

【請求項4】

前記スイッチ部は、前記電池駆動式機器における前記負荷としての主機能部への給電経

路を開閉するように構成されていることを特徴とする請求項1～3の何れか一項に記載の給電制御装置。

【請求項5】

前記給電制御部は、限時動作を行う所定のタイマ回路の出力に基づいて前記給電制御信号を生成するように構成されていることを特徴とする請求項1に記載の給電制御装置。